

すぎなみ 大人“熟”してる？

もっと 高円“人” 始動

みなさま、初めましてのこんばんは。事務局からお送りするマスコットの新聞、通称「大人塾新聞」創刊号をご覧ください、ありがとうございます。

32名の受講生で始動します「もっと高円“人”」ですが、それぞれ講座参加へは並々ならぬ思いをお持ちのことと思います。全10回という長い連続講座となりますが、一緒に作り上げていきましょう！！

さて、今回は、活動をバックアップする運営チーム、ご存じ高円ジャー（初耳ですか？これを機会にお見知りおきを）のお人柄に少しばかり触れていただこうと、「私と高円寺」というテーマで、それぞれに思いを書いていただきました！

われらが講座の学習支援者である川上さん、学習支援補助者の朝枝さん、湊さん、吉田さん、増田さん、社会教育センター担当職員の中曽根、吉川、鴨下のコメントを紹介します。

みなさまにもそれぞれの「私と高円寺」がきっとあるはず…次回までにあなたの高円寺を書いていただき、11月の大人塾新聞で紹介する予定です。お楽しみに！（文責：鴨下）

高円 レッド

高円寺といえば…①駅南口の居酒屋「大将」。3階になぜかあるカラオケルームでよく騒いでました。②惜しむらくはダ●ョウ倶楽部御用達の「野武士」が閉店したこと(ここでリーダーと竜ちゃんに会ったことある)。名物カニサラダとゴボウのから揚げが忘れられない。③今回の講座2回目のゲスト「イココチ」。月に1度、哲学者アレントの本を読み解く読書会を3年ほども。なじみの仲間とじっくり語り合う「たまり場」になったたな。あ。(川上)



阿佐ヶ谷生まれとしては、高円寺は永遠のライバル。駅も双子駅といわれ、どちらがいいまちか、子どもながらに言い合いをしていました。「土日祝日に中央線快速が停まらない」ということで荻窪の友人からは共にダメだしを受けたことも。トリアノンのケーキ、夏休みだけディズニーがかかる映画館。銀座商店街のにぎやかさ。私のモノクロの高円寺は、去年から鮮やかな色味を浴び始めています。(朝枝)

高円 パープル



高円 イエロー

私の高円寺デビューは、今はなきおもちゃ屋「ぼうや」。子どものおもちゃをよく買いに来たのが高円寺との出会いでした。最近は様々なcaféやイタリアン、大将やきびやなどに出没、高円寺は私の胃袋とつながりを満たす場所となっています。その中でも大人塾東高円寺会で蚕糸の森公園に集まり、特に夜あかりを灯し色々なことを話した「スナックみちくさ」は楽しかった！夜の公園の空気は格別です。現在公園工事中のため休店ですが、いつか皆さんともやりたいなあ。(湊)



高円
グリーン

自分たちのまちは自分たちでつくる。高円寺はそういった人たちが沢山いて、そういった人たちが沢山集まってきました。高円寺には春の高円寺びっくり大道芸、夏の高円寺阿波おどり、秋の高円寺フェス、冬の高円寺演芸祭という四大祭があり、これらイベントを皆が支え、多くの人たちが高円寺を訪れます。そんな高円寺から学ぶことも多く、私自身もまちづくりに参加でき生活できることに誇りを持っています。(吉田)

高円
ブルー



高円寺と言えば阿波踊り！

子どもの頃、高円寺駅に掲げられていた横断幕の「高円寺名物 阿波踊り」がいつしか、「東京名物 高円寺阿波踊り」に…ほお～と驚いたのを覚えています。今や西の徳島、東の高円寺？とまで言われるくらいのお祭りになりましたね。

娘3人が子どもの頃から“連”に入って踊っています。(私は、踊れません(^^;))

学校や家庭とは違う居場所が地域にあることは良いなあ～と思っています。

自分にとって、誰かにとって居心地の良い居場所が高円寺に増えますように♪ (増田)



東高円寺駅と新高円寺駅の間にセッション杉並が開いたのが平成元年。それから約30年、セッション杉並で働き続けています。高円寺とのつながりができたのも、その時からです。先日、仕事をはじめた頃よく飲みに行っていた小料理屋さんで久しぶりに立ち寄りしました。30年前と同じ風景のなかカウンターに座って飲んでいると、何ともホッとした気持ちになりました。そういうお店があちこち残っているのが高円寺のいいところです。(中曽根)



高円
ブラック
3人組

中野に住んでいるため、高円寺はとても近くなじみがあり、そして好きなまちです。飲み屋では、き〇や、四〇屋、〇将、ひら〇ら、太〇食堂。カフェではアール座読〇館、ルネッ〇ンス、喫茶〇活など、好きなお店も多いのですが、「結节点」や「たまり場」を意識してはきませんでした。この講座が好きなお店とのこれからの付き合い方を変える参考になるでしょうか？楽しみにしています。

(吉川)



高円寺との付き合いは、一番浅いであろう私。引っ越しを機に、社教に努めて4年目、高円寺とも4年の付き合いです。

幼少のころ父が「東京にも阿波踊りがあって、高円寺ってところで人気があるんだよ」と話していた数十年前(徳島出身なのです)、まさか自分の勤務先になるとは思ってもみませんでした。

家と職場の往復から→高円人へ。華麗なる変身をとげられるでしょうか。(鴨下)

★次回のお知らせ★

日時：平成30年10月10日(水)

会場：高円寺障害者交流館

内容：高円寺のコミュニティスペースの実践①

まちのシェアスペース「BOOK CAFE DINER イココチ」@東高円寺 ゲスト：蔵下博史さん

持物：「私と高円寺」コメント(当日持参または、メールで社教へ) ※詳細は別紙

●お問合せは社会教育センターへ●

電話(平日8:30~17:00) 03-3317-6621

当日18時以降の緊急連絡は 090-4128-3861

